

第4回検討委員会 論点リスト：意義・必要性～事業評価全体

論点：延伸の意義・必要性

Q：延伸の意義・必要性は次のような整理でよいか？

A. 延伸線整備の意義・必要性

交通サービスの向上

- 速達性・利便性向上
- 中間駅設置による鉄道空白地帯の解消
- 代替路線交通の確保（安全安心）
- 既存の鉄道路線の混雑緩和

高齢社会への対応

- 高齢者の移動手段確保

環境負荷低減

- 自動車交通からの転換によるCO2排出削減

B. 延伸線とまちづくりが連動することで生まれる意義・必要性

地域の活性化

- 岩槻の再生 人口増加・産業活性化等
- 岩槻の観光・文化の振興
- 浦和美園地域の成熟

地域の持続可能な成長

- 岩槻～浦和美園のつながりによる延伸線沿線地域の成長（既設線含む地下7沿線全体の成長）
- さいたま市の目指す持続可能なまちづくりへの貢献

論点：事業評価全体

Q：「B / C」、「事業の効果・影響」、「採算性」を総合的に勘案して事業性を評価することでよいか（総合的評価）？

Q：これらのなかで、重視すべきもの・留意点はあるか？

第4回検討委員会 論点リスト： 需要予測～採算性～その他

論点：需要予測の前提条件

Q：需要予測の前提条件は、人口減少局面、競争性等の将来予測・現状を踏まえたものになっているか？

Q：既存の開発（浦和美園など）や新規の開発（中間駅周辺）による人口増は需要予測にどのように反映すべきか？

Q：需要予測の場合分け・感度分析項目はどうすべきか？

論点：採算性の前提条件

Q：営業主体と整備主体の設定は？（既存の鉄道事業者（SR、メトロ、東急、東武、JR、鉄道運輸機構・・・）？新規の三セク？）

Q：営業主体・整備主体の経費について考慮すべきことは？（既存事業者の実績値？ 鉄道事業者の標準的経費？）

Q：採算性検討の場合分けはどうすべきか？

Q：採算性確保に向けた方策は？（第5回の議論に向けて）

その他（報告書、スケジュール）

Q：報告書について、資料3のように作業を進めることでよいか？

【今後のスケジュール案】

第5回：1月下旬～2月上旬、報告書提出：2月中目途